1．自転車駐車場　問　市民活動課（内266）

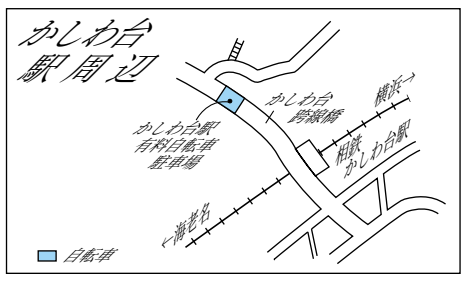
駐車場名	料金（月額）		募集台数	受付場所	受付時間
	一般	学生			
海老名駅東口第２	1,000円	800円	1100	海老名駅東口第１自転車駐車場内管理棟 ☎233・1020	受け付け期間中の午前７時～午後６時
海老名駅東口第３	1,000円	800円	600		
海老名駅西口第１	1,000円	800円	800	海老名駅西口第１自転車駐車場内管理棟 ☎234・5700	
海老名駅西口第２	1,000円	800円	500		
海老名駅西口第３	500円	400円	500		
海老名駅西口第４	500円	400円	200		
かしわ台駅	1,200円	1,000円	300	かしわ台駅自転車駐車場内管理棟	

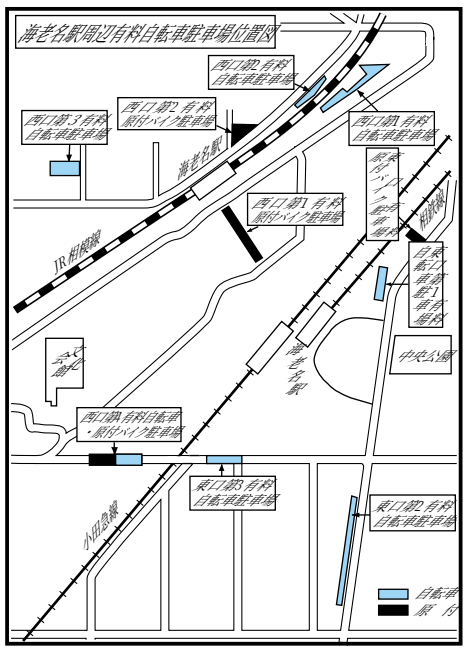
※管理棟のみの受け付けとなり、市役所では申し込みの受け付けは行いません。
※海老名駅東口第１駐車場は１日利用専用とし、募集は行いません。
※申込は１人につき１台で、申込後の取消しはできませんのでご注意ください。

2．原付バイク駐車場　問　原付バイク駐車場管理棟（☎235・5350）

駐車場名	料金（月額）	募集台数	受付場所	受付時間
海老名駅西口第１	2,000円	管理棟へお問い合わせください。	海老名駅原付バイク駐車場管理棟	受け付け期間中の午前７時～午後６時
海老名駅西口第２				
海老名駅西口第４				

※10月以降、利用期間は３カ月・６カ月の区分となります。





10月使用開始分から申込・利用方法変わります

●自転車原付駐車場、各管理棟で今月20日から

市では、10月使用開始分の海老名駅東口・西口の有料自転車駐車場の申し込みを9月20日（金）から各管理棟の券売機で受け付けます。

また、かしわ台駅有料自転車駐車場、海老名駅西口の原付バイク（50cc以下）駐車場の申し込みも、各管理棟で受け付けます。

※10月からは、申し込みをした自転車駐車場内での駐車位置は自由となります。詳細は駐車場・管理棟に掲示します。使用料などは、上表のとおりです。なお、現在駐車場を利用していて、9月末日で使用期限を迎える方も申し込みをしてください。使用期間は最長6カ月です。

問　市民活動課（内266）。

不燃物処理の現状

来月から処理棟稼動へ

新シリーズ　わたしたち　リサイクル党

＝⑥＝

センター内の10月から稼動する「不燃物分別処理棟」

市では、ごみの排出量50％削減を目標としています。これに伴って、海老名市リサイクルプラザ・資源化センターの建設に続き、6月からは同センター内に「不燃物分別処理棟」の建設を進めており、10月の使用開始を予定しています。

現在市で回収した不燃物は、3市（座間、綾瀬、海老名）で構成する「高座清掃施設組合」で分別作業を行い、資源となるものを抽出して、その他は埋め立て処分しています。しかし、さらに積極的に不燃物の減量化と資源化に取り組まなければ目標の達成は困難な状況です。

10月から使用を開始する不燃物分別処理棟では、搬入された不燃物を作業員の手で徹底的に分別します。鉄類などの資源を抽出することはもとより、乾電池類も完全に取り除いて、完全なごみだけにして高座清掃施設組合へ搬入します。

資源・ごみ　徹底的に分別

●不燃物の定義とそのゆくえ

不燃物とは、みなさんが「燃えないごみの日」に出しているものです。

①電池（乾電池・アルカリ電池・ボタン電池・ニカド電池など）＝民間の専門再生工場で処理

②せともの・ガラス・食器類＝高座清掃施設組合に運ばれたまま出す

④袋の代わりにダンボール箱などを使わない。

問　資源対策課（内544）。

割れた食器は「われもの」

●不燃物を出すときの注意

不燃物は、回収カレンダーの赤色の日に、次のことに注意して出してください。

①電池類は、電池類だけをまとめて袋に入れる（蛍光灯・電球類も同様に）

②割れた食器、せとものなどは袋に入れ、表面に大きく「われもの」と書く＝同上＝

③小型電気製品などは、その後、埋め立て処理

③電球、蛍光灯、小型電気製品＝小型電気製品のコード類は切り取って鉄類と一緒に再生業者が引き取り、再利用されます。

あぜみち

敬老の日に思う「いのちのバトン」

私が育った時代は、大家族が普通で、祖父母と一緒に毎日の生活がありました。現代は核家族が大多数を占め、ご多分にもれず、我が家も核家族です。子どもたちには、祖父母の大切さを事あるごとに話しますが、一緒に暮らしていないのでピンとこないようです。

相田みつを氏の書の中に好きな詩があります。「自分の番　いのちのバトン」という詩です。『父と母で二人　父と母の両親で四人　そのまた両親で八人　こうしてかぞえてゆくと　十代前で千二十四人　二十代前では―？　なんと百万人を越すんです』（相田みつを著「にんげんだもの」より）……この詩を読むたび、ご先祖さま誰一人欠けても、私たちは存在しないのだと思います。

先の人たちが残してくれた文化を受け継いで、今を生き、次の世代に残していける世の中であってほしいです。私たちは今、「いのちのバトン」を持って走っているのです。敬老の意義を自然に伝えていける大人でありたいと思いました。

（国分南在住、佐藤　晴美＝広報モニター＝）

まちかどニュース

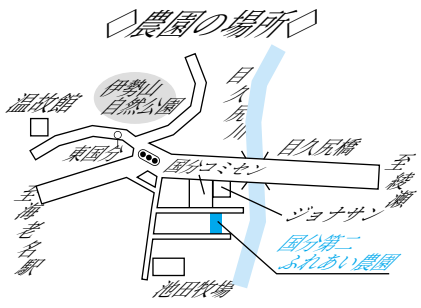
中新田小で災害生活126人が体験

○…8月24日、「海老名災害ボランティアネットワーク」（小川正文代表）の主催で、同メンバー126人が災害発生を想定し、中新田小学校体育館に泊まって避難生活を体験する〝災害体験シミュレーション〟が行われました［写真上］。

参加者からは「足音が響いて眠れなかった。通路にゴムシートを敷くなどの配慮が必要では」「ダンボールの間仕切りを高くしないと安心して眠れない」などの感想が聞かれました。

小川代表は「災害発生時には、子どもたちの相手をするボランティアや、年齢やプライバシーに配慮した場所割りの必要性がわかるなど、有意義な体験でした」と話し、参加者に「実際の避難生活では断水が続く。避難の時は必ず水を持っていってください」などと呼びかけていました。

●国分第二ふれあい農園利用者募集

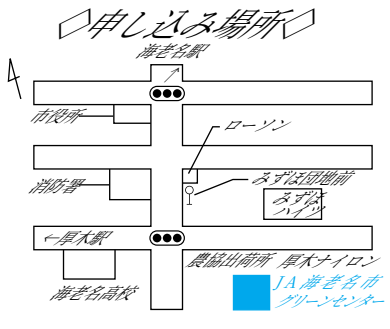


市では、市民の方に農業に親しんでいただくため、体験「ふれあい農園」の開設を進めています。今回は、10月にオープンする「国分第二ふれあい農園」の利用者を募集します。

▽対象　市内在住の方　▽募集区画数　25区画程度（1区画25平方メートル）　▽利用期間・料金　24カ月（10月～平成16年9月）・1万5000円。

申　9月17日（火）～25日（水）土日祝日除く午前9時～午後5時に直接JA海老名市グリーンセンターへ（印鑑持参）。応募多数の場合は27日（金）午前9時から同センターで抽選会を実施。利用手続きも同日行います。

問　同センター営農課（☎234・0684）、農政課（内522）。



中央公園でザリガニ採り

（撮影＝広報まちかどカメラマン　島隆則）

○…中央1丁目自治会主催の「こども祭」が8月25日、海老名中央公園を会場に行われました。水の流れを利用した「ザリガニのつかみどり」などに子どもたちは大喜びでした［写真右］。